

令和 2 年 9 月 24 日

会員各位

(公社)新潟県作業療法士会  
現職者共通研修委員長 山田 剛史

## 令和 2 年度 第一回現職者共通研修「事例報告」(web 開催)

### 演題募集のご案内

秋晴の候、皆様におかれましてはますますご盛栄のこととお喜び申し上げます。

さて、新型コロナウイルスの感染拡大に伴い開催を延期しておりました上記研修会ですが、この度 web 開催に切り替えて企画致しました。

下記の要領にて令和 2 年度 第一回現職者共通研修「事例報告」演題を募集致します。日頃の臨床場面で取り組んでいる内容について、是非発表して頂きたいと思っております。自らの臨床を見直す場として、会員相互間で意見交換を行い互いの作業療法の質的向上を図る場として、奮ってご参加頂きますようお願い申し上げます。

### 記

1. 日 時 令和 3 年 2 月 28 日 (日) 9:00~10:30 頃  
※受付 8:30~9:00 8:30~zoom ミーティングを開室します
2. 場 所 各自自宅 ※zoom を使用したオンライン研修会になります
3. 必要条件 ①zoom が閲覧でき、安定した WiFi 環境が整っていること。  
※通信料は自己負担となります。  
②PowerPoint を画面共有して発表する為、PowerPoint があること。  
③質疑応答を行いますので、タブレットよりもカメラ付 PC 等での参加をお勧めします。  
④以下リンクより zoom の設定をお願いします。

<https://www.niigata-ot.com/wp-content/uploads/2020/07/21dc72e8798a3a2f669b7c81a7516b17.pdf>

※zoom の操作自体初めての方もおられると思います。発表当日までにリハーサルを行う予定です。

4. 内 容 現職者共通研修「事例報告」に基づく症例報告全般

5. 参加費 正会員：無料 (県外の士会員：1 千円 非会員：1 万円)

※正会員とは新潟県作業療法士会および日本作業療法士協会療法に入会しているものをさします。会費未納の方は研修会前までに両方を納めるようお願いいたします。

6. 申込方法（2種類の申し込み方法があります）

(1) 申し込み方法1 【スマートホン等をお持ちの方】

- ① スマートホン等で、下記 QR コードをスキャンし、読み込んで下さい。
- ② 『⇒メール作成画面はこちら』をクリック。
- ③ 必要事項を記入の上、返信して下さい。

【必要事項】

- 1.氏名      2.電話番号(連絡とれるもの)
- 3.メールアドレス(連絡がとれるもの)
- 4.所属施設      5.協会番号(5桁のもの)
- 6.受講項目(受講する講義の( )に○を記入)  
    ( ) 事例報告  
    ( ) 事例検討



(2) 申し込み方法2 【スマートホン等をお持ちでない方・PC入力の方】

- ① E-mailにて上記同様の必要事項を記入の上、下記までお送り下さい。  
※件名に「令和2年度 現職者共通研修 事例報告申し込み」とご記入下さい。

悠遊健康村病院 作業療法士 中林昂也 宛

E-mail [gensyokusya-moushikomi@live.jp](mailto:gensyokusya-moushikomi@live.jp)

※アドレスは、全て半角英字です

特定の携帯アドレス【例：ピリオドが連続して使われているアドレス等】へは、メール返信できない場合があります。QRコード以外でお申し込みの場合は、原則PCからのE-mailをお願いします。

(3) 申し込み締め切り日

令和2年12月31日（木）※この時点で抄録の提出はありません。

※注意事項

- ① 申し込み締め切り日以降の問い合わせは御遠慮下さい。
- ② 申し込みを受理した方には、1週間以内に受領メールを返信します。メールの確認をお願いします。また、1週間経っても受領メールの返信が無い場合は、お手数をお掛け致しますが、問合せ先に再度メールを送るか、TEL(0258-47-8500 リハビリ部 作業療法士 山田剛史)までご連絡下さい。

7. 書式・抄録締め切りについて

- ① 別紙(a)を参照し、抄録を作成して下さい。
- ② 抄録締め切り日までに、下記アドレスに提出して下さい。

抄録締め切り 令和3年2月14日(日)まで

悠遊健康村病院 作業療法士 中林昂也 宛

E-mail [gensyokusya-moushikomi@live.jp](mailto:gensyokusya-moushikomi@live.jp) ※全て半角英字

8. 発表について

- ① 質疑応答を併せ、1人あたり10分程度を予定しています。
- ② ソフトは、Microsoft Office PowerPointで作成して下さい。
- ③ スライド枚数は自由に設定して構いませんが、発表時間にご注意下さい。
- ④ アニメーションや静止画は可能ですが、動画はPCの能力により使用できない可能性があります。
- ⑤ 個人情報保護の観点から、録画・録音は禁止しております。

9. 準備について

- ① 発表に向け、事前にリハーサルを行い動作確認致します。

10. その他、問い合わせ先

悠遊健康村病院 作業療法士 山田剛史 まで

E-mail [n-gensyokusya@live.jp](mailto:n-gensyokusya@live.jp) ※全て半角英字

※電話にてのお問い合わせはご遠慮下さい。

以上

## 事例報告書式（日本作業療法士協会 事例報告書作成の手引き参考）

## 1. 報告の目的（200字以内）

事例報告の目的を述べてください。例えば、「機能障害あるいは遂行能力の改善に働きかけて効果がみられたので、その介入方法を報告する・・・」、「作業活動をする経験が対象者の生活に意味ある変化をもたらしたので、その経過を報告する・・・」、「環境調整によって社会参加の機会が増したので、その方法を紹介する・・・」などです。

報告の目的にそって論点を絞り、介入が長期にわたる事例の場合はある一定期間に限定して報告する。

## 2. 事例紹介（400字以内）

年齢、疾患名、既往歴、現病歴、作業療法の対象となるまでの経緯、社会的背景など、本事例の作業療法方針に関連する個人因子と環境因子について述べてください。

## 3. 作業療法評価（600字以内）

事例の問題点、潜在能力、経過予測を述べ、介入前の障害像、特に報告の目的に関わる主要な問題点を呈示してください。

評価指標は限定しません。独自に作成した指標を使用した場合は、スコア等を評価指標入力画面に記入の上、本文においても具体的に記述してください。観察評価を中心におこなった場合には、観察の視点、観察された事実情報を具体的に記述してください。

## 4. 介入の基本方針（200字以内）

作業療法介入の基本方針について、目標あるいは目的達成のために、どのような方針で作業療法を進めたのかを具体的に述べてください。いくつかの基本方針を順次進める場合と、同時進行させる場合とがありますが、いずれも基本方針が複数にわたる場合にはわかりやすい記述に努めてください。介入にあたり作業療法の実践モデルがある場合には、モデルや理論の名称を記載してください。

## 5. 作業療法実施計画（600字以内）

作業活動（実施課題）、実施形態（個別、集団、訪問など）、実施頻度（1回時間、週あたり回数など）、実施期間など、作業療法上「何を手段として」「どのように」関わったのかが判るように記述してください。また、作業療法に用いた作業活動（課題）の選択理由、利用・活用方法、指導・援助の方法など、目的達成のためにどのような意図をもって作業療法を実施したのかが判るように述べてください。

## 6. 介入経過（800字以内）

ここで必要な内容は「どのような経過」を辿ったのか、ということです。経過が長い、あるいは介入項目が多い場合は、期間をいくつかの「期」に分け、介入項目ごとに整理するなどして読者に伝わりやすい表現を工夫してください。事例に変化を与えたとされる主要な介入方法は詳細に述べ、読者が追試を試みようとするときに役立つ情報を提供してください。プログラムの変更があった場合にはその理由を述べ、予期せぬ変化等についても記述してください。

## 7. 結果（500字以内）

介入によって得られた評価指標（数値）の変化，あるいは作業療法の介入によって生じた対象者の生活（行動）上の変化などを具体的に記述してください。

#### 8. 考察（700字以内）

「結果」で述べた対象者の変化に関する解釈を記述してください。作業療法介入は対象者の標的問題にどのような変化（効果）をもたらしたのか，あるいはもたらさなかったのか，そしてそれらはどのような理由に依るものか等を，利用した評価指標の変化との関連から考察してください。そして，今回実践した作業療法は，対象者の生活にどのような変化をもたらしたのか，対象者にとっての意味や価値という視点，活動や参加，生活の質といった視点についても可能な限り考察してください。